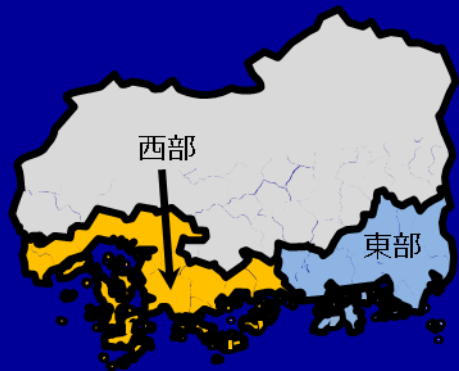


# 平成30年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第9号（果樹）



かんきつは南部の以下の地域が対象です。  
 ※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部  
 東部：三原市以东の沿岸島しょ部

平成31年3月14日 発表 広島県西部農業技術指導所  
 対象期間 平成31年3月14日～5月中旬

## もくじ

- 1-1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要）・・・P1
- 1-2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細）・・・P2～3
- 2 果樹全般 －カメムシの発生について－・・・P4
- 3 気象状況・・・P4
- 4 お知らせ・・・P4

1-1)		かんきつ病害虫の現況と予報（概要）		3月1日～12日調査
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項（防除時期）
かいよう病	西部	やや少	やや少	◇ レモン、ネーブル、はるみ等発生しやすい品種では、新梢発芽前（3月）・新葉展葉期（5月）に、銅剤による防除を行う。発生園では、4月にも銅剤による防除を行う。 ◇ <u>生育が前倒して経過しているため、防除時期を逃さないよう注意する。</u> ◇ 樹上の病斑は伝染源となるので剪除する。 ※ 剪定道具を介して感染するので、発病した樹を剪定した後は、道具の消毒を行う。 ◇ 強風雨により発生が助長されるので防風ネットや防風樹を整備する。
	東部	並	並	
ミカンハダニ	西部	少	やや少	◇ 冬季にマシン油乳剤の散布（冬マシン）を行っていないほ場では、高度精製マシン油乳剤の散布（春マシン）を行う。 ※ 樹勢が低下している場合、落葉が助長されることがあるので注意する
	東部	並	やや多	
そうか病		並 ※一部ほ場で発生	—	◇ 基幹防除を徹底する。
ヤノネカイガラムシ		並 ※発生なし	—	◇ 移動性が低く、ほ場の一部に集中して発生することが多いため、寄生部位を中心に周辺の状況を確認し、見つけ次第捕殺する。 ◇ ヤノネカイガラムシの発生がみられ、冬季にマシン油乳剤の散布（冬マシン）を行っていないほ場では、高度精製マシン油乳剤の散布（春マシン）を行う。希釈は登録範囲内の濃い濃度で行う。

## 1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細）

### かいよう病

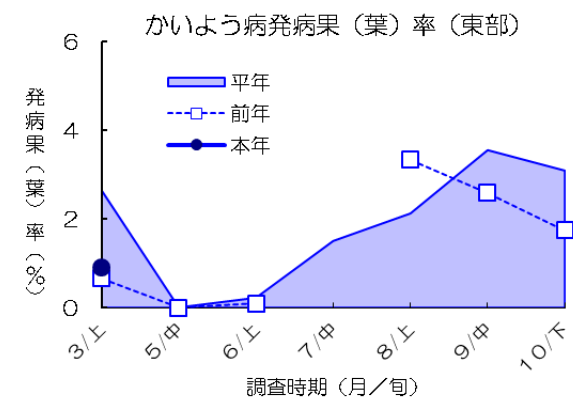
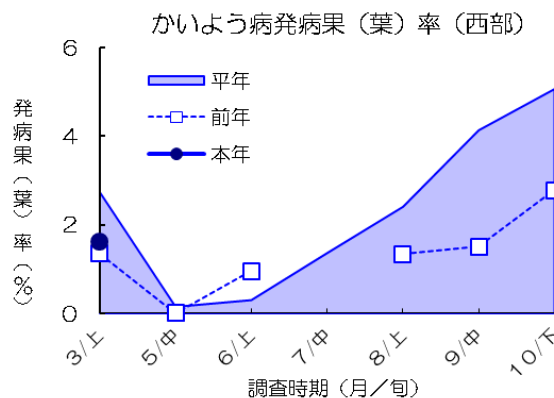
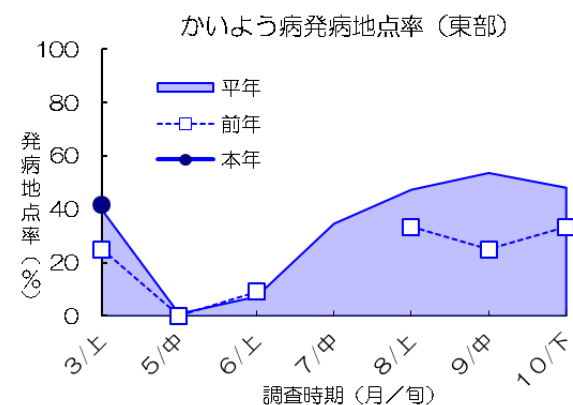
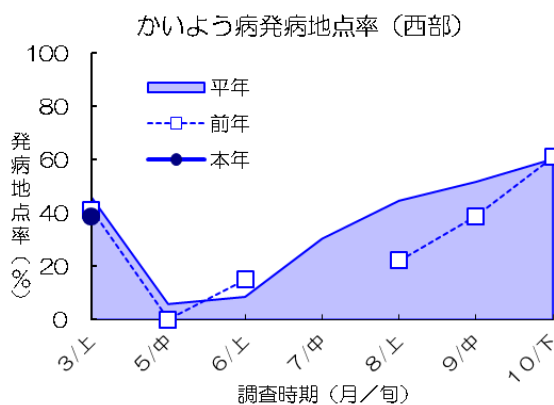


現況（平年比）		予報の根拠	（+）：多発要因，（±）：平年並，（-）：少発要因
西部	東部		
やや少	並	◆巡回調査では、西部がやや少、東部で平年並の発生であった。	◆向こう1か月の降水量予報は、少ない40%、平年並及び多いが30%と予想されている（±）。
予報（平年比）			
西部	東部		
やや少	並		


#### ◆銅剤散布にあたっての注意事項

- ・前作の着果過多等により樹勢が著しく低下している場合は、散布を控える。
- ・高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あける。
- ・マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用せず、これらの剤との散布間隔は7日以上あける。
- ・無機銅剤（コサイド剤など）の散布を行う際、クレフノン（希釈倍数：200倍）を加用する。

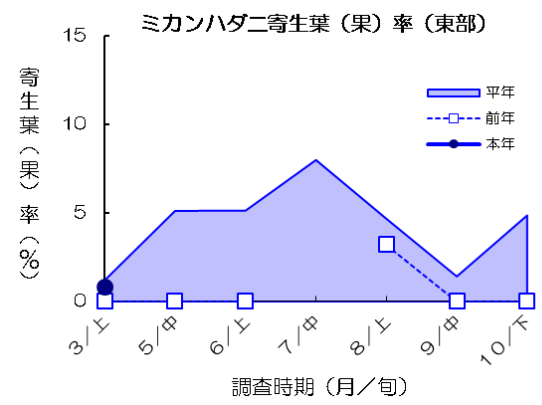
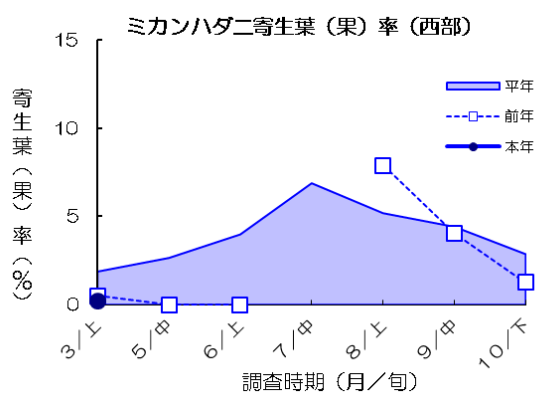
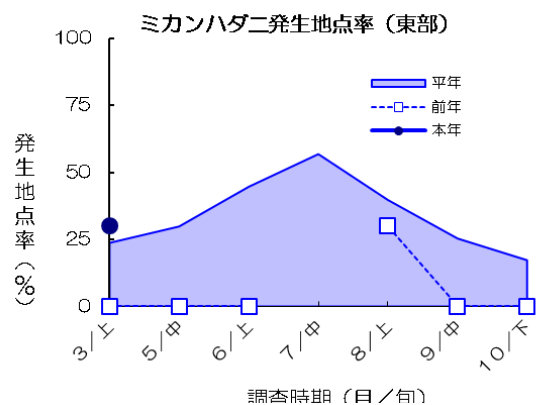
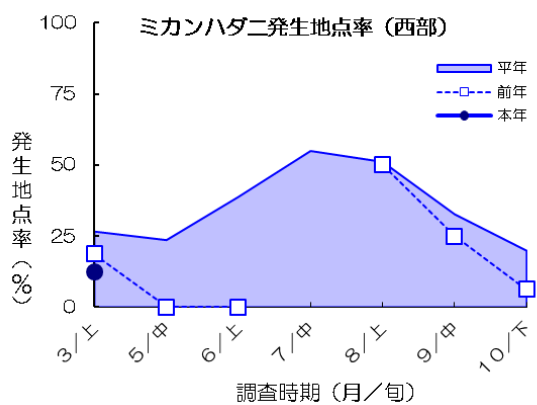
#### 巡回調査データ



（注）調査対象部位は、3/上；旧葉，5/中～7/中；新葉，8/上～；果実

<h1>ミカンハダニ</h1> 	現況(平年比)		予報の根拠	(+): 多発要因, (±): 平年並, (-): 少発要因	
	西部	東部			
	少	並	◆巡回調査では、西部では少ない発生、東部では平年並の発生であった。 ◆向こう1か月の気温予報は、高い60%、平年並み30%、低い10%(+)降水量予報は、少ない40%、平年並及び多いが30%と予想されている(±)。		
	予報(平年比)				
西部	東部				
やや少	やや多				

巡回調査データ



(注) 調査対象部位は、3/上~5/中; 旧葉, 6/上~9/中; 新葉, 10/下; 果実

【発生量について】

「予報」「現況」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分の方法は、原則として、過去10年間の同時期の調査結果の数値を、発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
- 「やや多」 : 2~3番目と同程度
- 「並」 : 4~7番目と同程度
- 「やや少」 : 8~9番目と同程度
- 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下

2

果樹全般 — カメムシの発生について —



チャバネアオカメムシの越冬量調査結果では、主に県内の中北部地域で越冬が確認されました。過去のデータと比較すると、地点率及び1か所あたり虫数はやや多いです。

4月以降のフェロモントラップの誘殺状況を参考にして、カメムシの発生に注意し、適切に防除を行ってください。

3

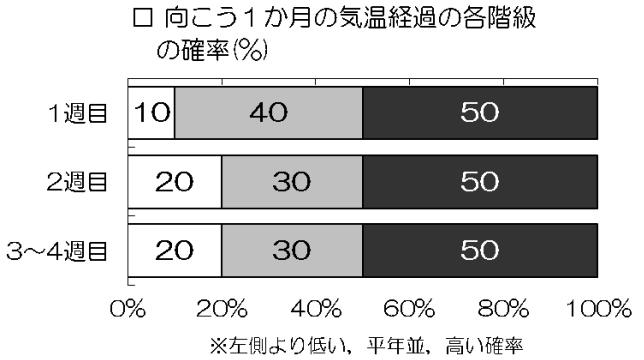
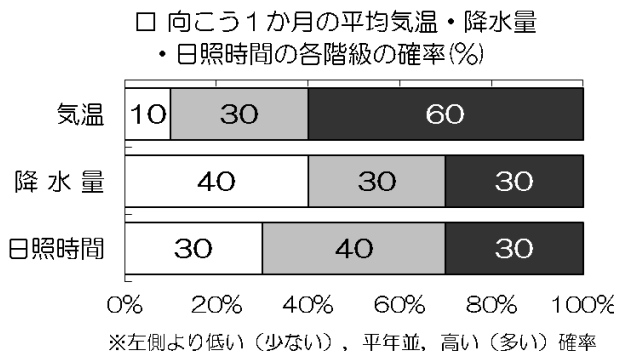
気象情報

中国地方1か月予報

(広島地方気象台3月14日発表, 3月16日から4月15日までの天候見通し)

天気は数日の周期で変わり、山陽では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、高い確率50%です。



4

お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム  
〒739-0151 東広島市八本松町原6869  
電話：082-420-9662 (直通)